報　　告　　書

開 催 日 時	令和　7年　7月　11日　　19時　00分　～　20時　00分			
自治協議会名	布引地域住民自治協議会		開 催 場 所	布引地区市民センター
出席議員	西口和成　福岡正康　陶山美佐			
	班 長	陶山美佐	記録・報告者	西口和成　陶山美佐
参加人数	14名			

【主な意見・提言等】

＜地域防災について＞

・布引地区では「安否確認登録シート」を毎年更新している。家族構成や緊急連絡先、要配虜情報（医療、資格など）を記載。
　災害時に迅速な安否確認が可能となる仕組み。
・布引地区は市が指示する個人情報を守るために「鍵付きのロッカーに保管」することよりも地域の実態に即した対応をしている。
・民生委員は各地区で非常に密な関係を築いており「誰がどこで生活しているのか」家族構成など実地に把握している

＜災害時の高齢者等孤立不安＞

・指定避難所の市民センターやライトピア大山田は大雨時には冠水の危険性が高いと感じる。
・布引地区や坂下地区など県道2号線1本に依存している地域では土砂災害などが発生した場合、孤立する恐れがある。ドローン活用も山中なので通信が届かず困難。
　これに対して道路の「優先順位の考え方が不透明」人命を基準とするなら地区の人数ではなく地理的孤立のリスクを重視すべき。
　・スマートフォンを使えない高齢者も多い。

＜今後の課題と対策＞

・道路整備・インフラの優先順位について明確な基準と整備予定を地域に開示する。
・指定避難所の見直し実態調査を行い避難体制の整備を行う。
・防災無線は広範囲の山間部には届かない、アナログ無線スピーカー（各地区設置）は音が届きやすい。
・防災アプリ「ハザードン」の利便向上と高齢者に対する使用支援策の強化。

＜その他＞

・AED は施設内に保管されており土日夜間は施設が施錠されて使用できないという問題がある。

＜今後の課題と対策＞

・緊急時に取り出せるように屋外型の AED ボックス（割れば取り出せる構造）の設置。
・AED のリース制度（バッテリーなど維持を含む）も含めた行政支援を考える。

伊賀市議会議長　様

令和　7 年　7 月　12 日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和 7 年度 地域意見交換会　　2 班

班長　陶山美佐